

中国やまなみ街道全線開通や原油価格下落などプラス材料もあるが

業況・売上・採算とも大幅な悪化

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の138社。2位が「ニーズの変化への対応」の53社。「人材養成・確保」が52社で3位。
- ★ 「中国やまなみ街道全線開通による事業活動への影響」について、24.5%（53社）が「プラスの影響がある」と回答したのに対し「マイナスの影響がある」と回答したのはわずか6.0%（13社）。最も多かったのが「影響がない」の58.8%（127社）。「わからない」は10.6%（23社）。
- ★ 「現在の雇用人員」について、約6割の132社（61.4%）が「適正」と回答。「過剰」がわずか6社（2.8%）に対し、「過剰」が77社（35.8%）と人手不足気味の状況。

平成28年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成28年4月に実施した第104回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が104回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は218社（小売業60社、卸売業25社、製造業32社、建設業56社、運輸・交通業13社、観光・サービス業32社）で回収率は43.6%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲25.0と、3ヶ月前の前回調査から17.1ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.9%、「やや好転」が13.9%で、逆に「やや悪化」が29.2%、「かなり悪化」が10.6%だった。売上D.Iも▲3.5から15.6ポイント悪化の▲19.1。採算D.Iも17.4ポイント悪化し▲30.1となり、すべてのDI値が悪化した。原材料（商品）仕入価格は18.6と僅かながら下降。

今回事業所に対し、「中国やまなみ街道全線開通による事業活動への影響」について尋ねたところ、24.5%（53社）が「プラスの影響がある」と回答した。中でも、運輸・交通業では半数が「プラスの影響がある」とした。逆に、「マイナスの影響がある」と回答したのは全体のわずか6.0%（13社）と、現状では、物流関係を中心に全線開通が好影響を与えている。ただ、「影響はない」と回答した事業所が58.8%（127社）と多数を占めており、中国やまなみ街道のより有効的な活用が今後の課題となる。

また、現在の雇用人員については、「過剰」と回答した事業所が2.8%（6社）で、約6割の132社（61.4%）が適正と回答した。一方、「不足」と回答した事業所は約4割の77社（35.8%）に上り、人手不足の影響が拡大してきている。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI	(好転割合) — (悪化割合)
売上DI	(増加割合) — (減少割合)
採算DI	(好転割合) — (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲25.0。業種別では、小売業を除く5業種が悪化。特に、運輸・交通業を除く4業種（卸売業が0.0→▲28.0、製造業が12.1→▲34.4、建設業▲9.1→▲32.1、観光・サービス業0.0→▲30.0）で20ポイント以上の悪化。

売上は、全業種合計で今期▲19.1。業種別では、小売業と運輸・交通業を除く4業種で悪化。特に、卸売業（3.7→▲29.2）と製造業（21.2→▲37.5）の2つが20ポイント以上の悪化。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期18.6と僅かながら下降。しかしながら、運輸・交通業では再び上昇傾向にあり、原油価格は底値を打ちつつある。

採算は、全業種合計で今期▲30.1。業種別では、売上同様、小売業と運輸・交通業を除く4業種で悪化。20ポイント以上の悪化は、製造業（0.0→▲40.6）、建設業（▲9.3→▲32.7）、観光・サービス業（▲16.7→▲48.4）の3業種。

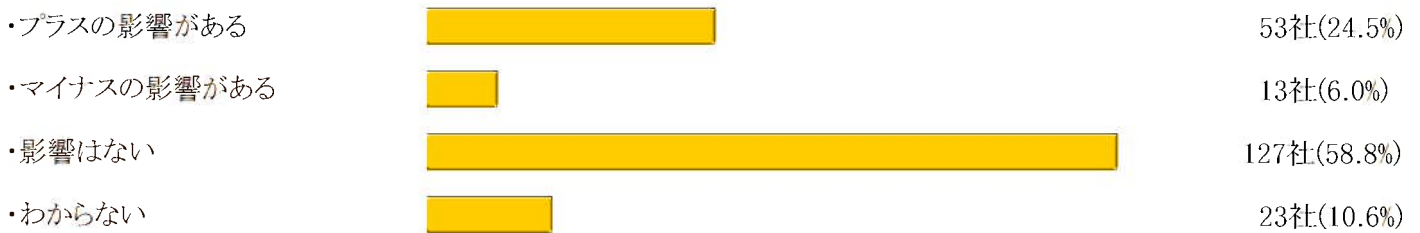
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【「中国横断自動車道尾道松江線」(中国やまなみ街道)が全線開通して1年が経ちますが、
全線開通は貴社の事業活動に影響がありますか？】



【一年前に比べ、原油価格が下落していますが、事業活動でどのような影響がありますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 25.0	▲ 29.6
小売業	▲ 13.3	▲ 33.3
卸売業	▲ 28.0	▲ 8.0
製造業	▲ 34.4	▲ 18.8
建設業	▲ 32.1	▲ 48.2
運輸・交通	▲ 7.7	▲ 23.1
サービス業	▲ 30.0	▲ 20.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 19.1	▲ 29.8
小売業	▲ 8.3	▲ 36.7
卸売業	▲ 29.2	▲ 16.7
製造業	▲ 37.5	▲ 15.6
建設業	▲ 23.2	▲ 46.4
運輸・交通	16.7	▲ 16.7
サービス業	▲ 19.4	▲ 16.1

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

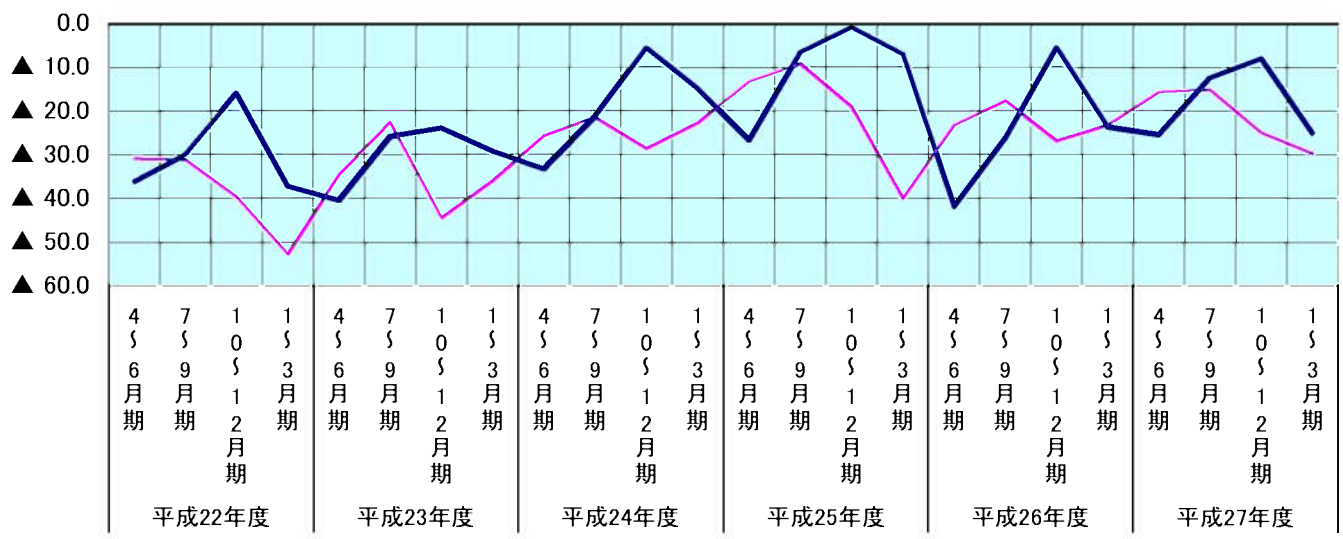
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 30.1	▲ 35.8
小売業	▲ 18.3	▲ 40.0
卸売業	▲ 32.0	▲ 25.0
製造業	▲ 40.6	▲ 18.8
建設業	▲ 32.7	▲ 56.4
運輸・交通	0.0	0.0
サービス業	▲ 48.4	▲ 32.3

(好転割合－悪化割合)

全業種

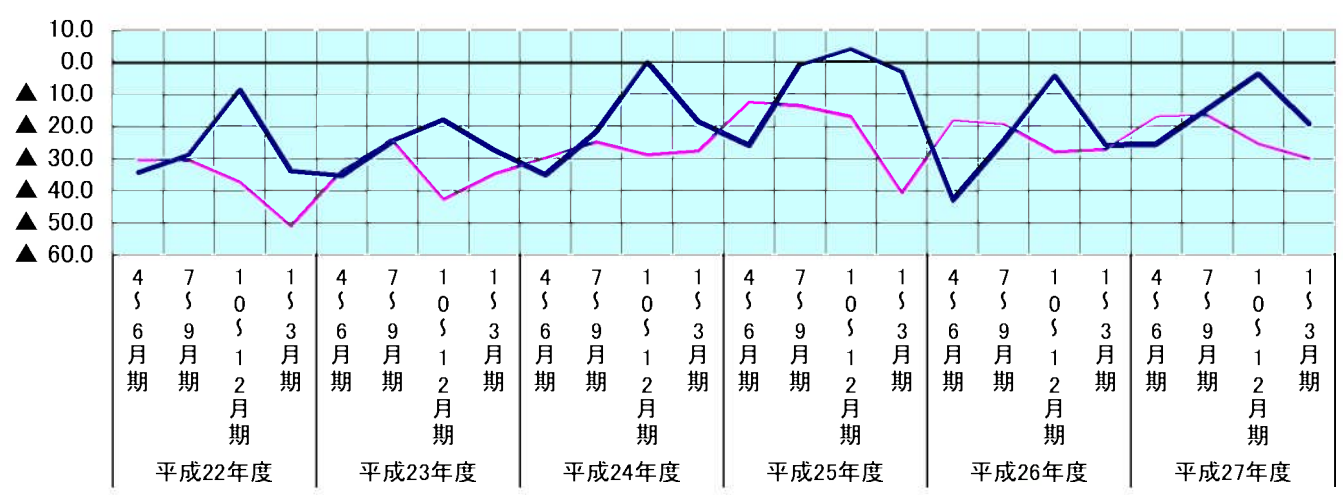
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



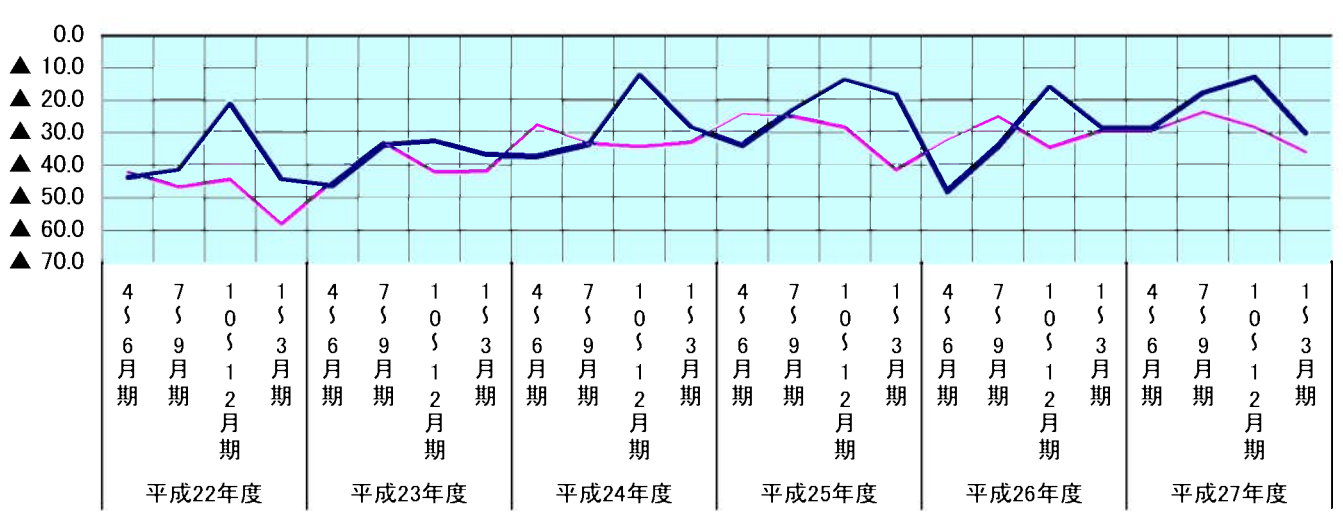
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
卸 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
建 設 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			

景気天気図の説明					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い